

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	身体障害者福祉バス(あじさい号)運行事業		事業コード	11310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	~63
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	年度

2 実施根拠及び関連法令等

市身体障害者用福祉バスあじさい号運行事業要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
歩行の困難な身体障害者で車いす等を使用している障害者を対象に、車いす等を使用したままで乗車できる車両を運行することにより、通院、買物等日常生活の行動範囲を拡大し、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。		・ 障害の程度が概ね1級及び2級の下肢・体幹機能障害(児)者 ・ 上記者の介護人	
		対象数	7,772人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 平成13年度決算額 46,984,758円 利用の範囲 病院の通院、入院等、福祉施設への入退所等 福祉団体等が主催する事業、会議への参加 公共機関での諸手続き、買い物等 運行内容 日時：月～金 午前9時～午後4時30分 土 午前9時～午前11時30分 範囲：原則として、市内及び隣接市町 台数：4台 運行日数 1,066日 走行キロ数 66,098km 		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度
		なし	

4 評価指標

指標名	あじさい号乗車利用率		
指標式	延利用者数(実績) / 予定延利用者数(見込) × 100		
指標設定の意図	予定延利用者数に対する実延利用者数の達成率		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 99	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	45,528	40,775	46,985	53,126	47,080
	人員・時間数	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
	人件費	842	842	842	842	842
	その他経費					
	合計	46,370	41,617	47,827	53,968	47,922
特定財源	5,190	2,181	1,506	2,559	3,480	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 99.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 99.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
-----------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 見込み通りの利用があった。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か

評価 A ▼	A : 適応している	理由： 車いす等を使用したままで乗車できる車両を運行することにより、歩行の困難な身体障害者の行動範囲を拡大している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か

評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 社会福祉協議会に事業委託しており、人件費、車両の運行等で経済的かつ効率的な事業を適切に行っている。今後、他の事業者で費用対効果が期待できる業者があれば検討する。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 市が実施していくことが適当であり、社会福祉協議会に事業を委託することでより効率的に事業を実施できる。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか

評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 障害者の行動範囲を広げるための支援として満足を得られている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由： 障害者の行動範囲を広げ、地域や社会に積極的に参加できる社会をつくるためには、あじさい号の運行は必要であり、この点で当該事業は有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 車両更新に合わせて、座位が困難な方のためにストレッチャーを設置するなど、車両の改良を行っている。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 委託事業について、平成13年度にコスト改善を実施した。

7 総合評価

評価 AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	他自治体においても類似の事業が実施されている。	
		説明	障害者の行動範囲を広げ、地域や社会に積極的に参加できる社会をつくるという目的において、本事業の有効性は高い。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点